



2005.5.1

vol.18

西宮市室川町10番22号
TEL:0798(74)2630 FAX:0798(74)7257
ホームページ <http://cvnweb.bai.ne.jp/~nw-hosp/>



新年度 ご挨拶

院長 渡邊 高

今年も春がやってきました。
桜の下に集まって酒盛りをしながら話を弾ませる時期を終え、新緑の頃を迎えています。

昨年度の重なる台風で、桜の木は大きな被害を受けたにもかかわらず、今年の春も満開の花が咲きました。この自然の力の偉大さに、不況の空気を吹き飛ばすような活気を肌を感じる次第です。

21世紀の初頭、神大名誉教授 馬場茂明先生は、緒方洪庵の医者としての義務12ヶ条が書かれた大額縁を当院に持ってこられ、『医療に携わって、最後の仕事を住み慣れた西宮でしたい』とおっしゃられました。そして、私共の病院に生活習慣病学習センターを開設され、老人会の講師として、酒処西宮で酒と上手に付き合う話などを毎年地域の皆さまに話され、地域の皆さまと一緒に、生活習慣病の検診・予防・治療、そして保健に取り組まれました。

馬場先生は、特に糖尿病と卒然死の予防に力を発揮され、学問と科学の進歩をふまえた素晴らしい国際的な医師として、また社会的教育者としての天分を発揮されて、多くの人々に慕われ、尊敬されておられました。

馬場先生は、病気を患われた後も叙勲の会に出席

されるなど、医師とはこうあるべきだという毅然とした姿勢を私共に教えて下さいましたが、平成16年3月27日永遠のお別れをいたしました。

当院は、馬場先生の遺志を継いでNPO活動に協力し、安井地区の検診では180名中10%の人に糖尿病による視力障害が明らかになり、眼科治療を受けられました。4月からは、安井地区での検診を引き続き行うとともに、大社地区でも検診を行っています。

第4次医療法の改正で急性期・慢性期の病床区分の見直しが行われ、昨年の診療報酬の改訂では、病院の医療の機能区分をより明確にした病院診療の質の向上が求められました。

新年度を迎え当院は本年度、次のような医療を提供していきます。どうぞ、ご期待ください。

生活習慣病・生活機能病に対応した病院医療の質の向上を目指し、検診と予防・治療、そして保健を充実させる

患者さまの個人情報を守り、患者さまのための治療・保健に個人情報を正しく利用して健康増進につとめるとともに、情報開示にもつとめる

地域の皆様が信頼でき、安心でき、満足できる医療を展開する

★ 来院式を行いました ★

去る4月4日、特別医療法人高明会の新入職員を迎える来院式がとり行われました。

今年は、看護師5名・看護助手1名・リハビリ室6名・臨床検査技師2名・臨床工学技士1名・管理栄養士1名・保育士1名・事務所3名の計20名の新しい職員を迎えました。

来院式では、渡邊高院長挨拶のあと、職員を代表して、昨年入職した看護師の飯西亮介から歓迎の辞があり、最後に新入職員を代表して看護師の小田香織が、『患者様を守り・支え・ケアしていくためにも、日々向上心を持ち、心通い合うケアができる人間性を養う努

力を続けていきたい』と入職にあたっての決意を述べました。

20名もの新しい戦力を加え、今後とも患者様と地域の皆様の健康と福祉に貢献すべく、職員一同初心に返って頑張っていきたいと思っております。



患者さまの個人情報保護に関するお知らせ



当院は、信頼でき安心できる病院として地域の人々の健康と福祉に貢献することを理念としています。また患者権利章典においては、患者さまの個人情報が守られ、私生活が守られる権利を尊重しています。

当院は今後も、患者さまの人格尊重の理念の下に、患者さまからお預かりする大切な個人情報を保護し、患者さま自身が自己に関する情報をコントロールする権利を尊重した医療を提供していきます。

そしてその一環として、『個人情報保護に関する法律』、その他の個人情報に関する法令や規範を遵守していきます。

個人情報の利用目的について

患者さまからお預かりした個人情報は、右記の利用目的の範囲内で利用させていただきます。

右記の利用目的の範囲を超える利用の必要性が生じた場合には、改めて患者様から同意を得させていただきます。

個人情報の第三者提供について

当院は、『個人情報保護に関する法律』で定められた特別な事由がある場合を除き、患者さまの個人情報を患者さまの同意なしに第三者へ提供しません。また患者様の同意を頂いた場合でも、当院以外の第三者に患者さまの個人情報を開示・提供する場合には、第三者と個人情報保護に関する取り決めを行い、個人情報保護に万全を期すようつとめます。

個人情報の安全対策について

当院は、患者さまからお預かりした個人情報への不正アクセス、個人情報の紛失・破壊・改ざん、及び漏洩などに対する万全の予防措置を講じます。万一問題発生時には速やかな是正対策を実施します。

個人情報の開示・訂正・利用停止等について

当院は、患者さまから当院が保有するその患者さまの個人データの開示を求められたときは、別紙のとおり患者さまの個人データを開示します。また、患者さまから当院が保有するその患者さまの個人データの訂正・利用停止・第三者への提供の停止を求められた場合も、『個人情報保護に関する法律』に則り、これらの措置を行います。

個人情報の問い合わせ・苦情窓口

個人情報や個人情報保護に関する、相談・質問・ご意見、及び苦情に関するお問い合わせは、以下となっております。

個人情報保護 相談・苦情窓口 : 診療情報部

当院の理念

当院は誠心誠意医療に携わり、信頼でき安心できる病院として地域の人々の健康と福祉に貢献する。職員は生命の尊重と人間愛とを基本とし、常に安心して質の高い医療を身近で受けられる水準の高い病院の実現に努め、専門職的倫理を持って医療を提供する。

患者権利章典

- 1) 良質な医療を公平に受ける権利
- 2) 診療に関して十分な説明、情報を受ける権利
- 3) 治療方法などを自分の意志で選択する権利
- 4) 自己の診療記録の開示を求める権利
- 5) 診療の過程で得られた個人情報が守られ、私生活が守られる権利
- 6) 研究途上の医療などで、目的や危険性などの情報提供を受けて、医療を受けるか否かを定めることができる権利と、不利益を受けることなく医療を拒否する権利
- 7) 患者の人権、価値観を尊重し、医療提供者との協力を得て、良質な医療を実現し、医療を受ける権利

当院における患者さまの個人情報の利用目的

医療提供

当院での医療サービスの提供
他の病院・診療所・助産所・薬局・訪問看護ステーション・介護サービス事業者等との連携
他の医療機関等からの照会への回答
患者さまの診療のため、外部の医師等の意見・助言を求める場合
検体検査業務の委託、その他の業務委託
ご家族等への病状説明
その他、患者さまへの医療提供に関する利用

診療費請求のための事務

当院での、医療・介護・労災保険、及び公費負担医療に関する事務
審査支払機関への診療報酬明細書の提出
審査支払機関、または保険者からの照会への回答
公費負担医療に関する行政機関等への診療報酬明細書の提出、照会への回答
その他、医療・介護・労災保険、及び公費負担医療に関する診療費請求のための利用

当院の管理運営業務

会計・経理
医療事故等の報告
患者さまへの医療サービスの向上
入退院等の病棟管理
その他、当院の管理運営業務に関する利用

その他

事業者等からの委託を受けて健康診断等を行った場合における、事業者等へのその結果の通知
医師賠償責任保険などに係る、医療に関する専門の団体・保険会社等への相談又は届出等
医療・介護サービスや、業務の維持・改善のための基礎資料
院内において行われる学生への医療実習への協力
医療の質の向上を目的とした、院内での症例研究
住所や氏名の匿名化を行い、個人の特定ができないように配慮した上での学会等への発表
外部監査機関への情報提供

附記

上記の利用目的のうち、同意しがたい事項がある場合には、その旨を1階事務所までお申し出下さい。
お申し出がない場合は、同意して頂けたものとして、個人情報を取扱わせて頂きます。
これらのお申し出は、いつでも撤回・変更等行うことが可能です。

看護部長 岡澤 恵子 就任のご挨拶

本年度4月より、大阪大学医学部附属病院より赴任してまいりました。環境ががらりと変わり戸惑うことばかりですが、患者さまや職員の方々の暖かい笑顔に励まされ頑張っております。趣味は、映画鑑賞・ピアノ演奏・旅行・占いと多岐に渡り楽しんでいます。好奇心が強く、大切にしているのは『チャレンジ精神』です。チャレンジする生活の中にこそ本当の生きがいが生まれてくるものと考えております。いつまでもきびきびと若々しい感性を失わないで、よりよい看護のために尽くしてまいりたいと思っております。よろしく申し上げます。



★ 医師 勤務変更のご連絡 ★

外来 火曜午前の整形外科担当医が、4月1日より長山医師より辻尾医師に変更となりました。また、ご迷惑をおかけしておりましたが、4月11日よりお休みを頂いておりました内科 本郷医師は、5月9日より復帰しております。





請求書の『中身』

今回は、入院と外来の請求書兼領収書の項目についてご説明します。

診療費請求書兼領収書(外来)

診療費請求書兼領収書(入院)

- 初診料・再診料・紹介料
各種指導料
- 内服薬・屯服薬・外用薬・調剤料等
- 注射・点滴料等
- ケガの創傷処置・術後処置・ギブス処置
リハビリ室で行うホットパック等の物理療法等
- 縫合手術をはじめとした各種手術
麻酔料・輸血料等
- 血液検査や・心電図・内視鏡検査などの
各種検査料
- X線撮影や、CT・MRI撮影などの
各種画像診断料
- 理学療法・作業療法・心臓リハビリテーション
心療内科のカウンセリング療法等
- 入院時の療養環境の提供・寝具の利用料
医師・看護師による医学的管理料等

外来分は、上記の保険点数を合計した小計に10円をかけて金額とし、それに負担割合をかけたものに文書料・消費税などの費用をたした合計が請求額となります。

入院分は、上記の保険点数を合計した小計に10円をかけて金額とし、それに負担割合をかけたものに食事負担額と病衣代・消費税などの費用をたした金額が請求額となります。

診療費について不明な点やご質問がある方、また医療費の助成制度などについてご質問がある方は、

1階事務所までお越しください。

リハビリ広場

高齢者の方の骨折は年々増加していますが、その中でも**転倒**により大腿骨を骨折するケースが大半を占めています。

骨折すると2～3ヶ月の入院、場合によってはそれ以上のリハビリが必要になってきます。このような状況にならないよう、日頃から**転倒しにくい体**を作っておくことが重要です。

そこで、つまづくことに関係深い足の付け根にある**腸腰筋**という筋肉のお話をしていきたいと思えます。

< 腸腰筋について >

図の2つの筋肉を併せて腸腰筋といい、腸腰筋は歩く、階段を昇る、敷居をまたぐ等、太ももを持ち上げるのに最も強力に働く筋肉です。また、他の筋肉と協力して股関節をしっかりと安定させる作用もあります。

ですから、腸腰筋を鍛えることによりつまづきにくく、また踏ん張りがきき、ふらつきにくくなるという訳です。

～ 転倒予防のためにできること～

この腸腰筋を鍛えるためには、仰向けに寝て両膝を立て、どちらか一方の膝を伸ばし、空中で5～10秒とめる。立った状態で太ももを片方ずつ水平まで上げる。力に合わせて重りを足首に巻きつける。階段の昇りを利用して、太ももを上げるようにする。など

注意点：運動は安全に行える場所を利用してください。回数や重りの量は個人差がありますので、まずは、無理のないところから始めましょう。

以上、腸腰筋について、働きと運動の方法を簡単に述べました。少しずつでいいですから、転倒しにくい体づくりを始めましょう。

リハビリテーション科 塩田智之

むろかわNews に対する皆様よりのご意見・ご感想をお待ちしております。
当院各階詰所・1F 出入口に設置しております「ご意見箱」をご利用ください。